

環境の都ニュース

2022.10.1 NO.113

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：西村日出男

編集者：安楽 裕子

西山に懸けてきた私の人生



西山に侵食する竹林(手前)

長岡京市環境の都づくり会議：顧問 渡辺 節郎

私が環境に関心を持ち当会で活動を始めて 18 年になります。私の人生を変えたボランティア活動の始まりはピオトープ活動でした。第五小学校の子供たちと空き地に池を作り、ザリガニと遊んだ事を覚えてます。その翌 2005 年に“放置竹林の整備”に軸足を置いて活動を始めて、農家の高齢化と後継者不足で放置された竹林が西山にまで侵食している現状を知り、地域の心の故郷であり、豊かな水や森林環境を誇る西山の自然が失われ、動植物の生態系が壊されていくことに危機感を覚えました。広大な放置竹林の整備は到底一ボランティアの手に負えるものではありませんが、環境保全活動に一石を投じるつもりで手始めに光明寺近くの竹林(1800㎡)の整備に着手しました。素人集団の手探りの整備活動でしたが、1 年ほどの作業で密生した薄暗い竹林は見事に美しい竹林になり、感動を覚えました。平成 23 年(2011 年)から活動の範囲を広め、市役所農林振興課とも連携し、市に登録された放置竹林を次々に整備を始め、会員増にも注力して 15 名ほどで月 4 回の整備に汗を流してきました。昨今は、活動の輪を市民レベルにまで広げるべく、竹あそびなどで竹をテーマにした活動や子どもたちの竹林整備体験を支援したりと仲間づくりにも注力した取り組みを行い、現在では 20 名以上の会員で 10ヶ所約 26,000㎡(7,800坪)の竹林を継続管理しています。

振り返れば、竹に関わる多くの活動がありましたが、今後も思いを共にするボランティア仲間、地主、企業、地域住民、行政などみんなで協働して西山の緑と乙訓名産のタケノコ竹林を守り、その活動を子供たちにも託していけたら私の夢もいつか叶うだろう。苦楽を共にした長岡京市環境の都づくり会議が 20 周年を迎えた今、つくづくそう想っています。

最後に嬉しい話です。

長岡京市制 50 周年関連事業の一環としての市民表彰があり、街づくりの部「みどり部門」で、団体に長岡京市環境の都づくり会議が、個人では当会前代表の江川宗治氏、里山再生 PJT の加藤克巳氏、私の 3 名が受賞することになりました。また、令和 4 年度京都府環境保全活動功労者としても当会が表彰を受けます。長年の活動を評価いただき、嬉しい限りです。

放置竹林はまだ山ほどあります。今しばらくは弱音を吐かず、次の世代にバトンを渡す活動にもうひと踏ん張りしようと思っています。



放置状態の竹林



整備中の竹林(竹チップも散布)

すくすく教室 **冬の炭焼き体験** にお越しください！

PJTリーダー 神山 忠

新型コロナが相変わらず終息の兆しが見えません。それでも、少しずつ対処法が分かってきて、春の筍掘りや夏の川遊び、竹ドミノ大会には子どもたちや親御さんも感染防止に配慮して参加頂けるようになってきました。

冬場に向けて“すくすく教室”では“竹炭焼き体験”の開講準備を始めます。

この講座では、竹林の中で、温かい“竹の炎”を囲みながら炭焼きの体験をするほか、竹伐りや一輪挿しづくり、弓矢あそび、竹ドミノ遊びなどを行い、遊びながら自然環境の大切さを学びます。多くの皆さんの元気なご参加を待っています。2023年にはコロナが終息することを祈りながら・・・。



実施日

2022年11月19日(土) 2023年1月14日(土)
12月10日(土) 2月18日(土)

いずれも、光明寺北側の竹林で、開催時間は10:00～11:30です。

「環境ラベル」を知っていますか

PJTリーダー 田原誠一郎

環境ラベルとは、商品やサービスがどのように環境負荷低減に効果があるかを教えてくれるマークや目じるしのことです。私たちが品物を選ぶとき、価格や品質、嗜好だけでなく、これらのマークがついている品物を選びましょう。環境への負荷を少なくすることができます。よく使用されているマークを紹介し、参考にして、買い物をお楽しみください。

エコマーク	牛乳パック再利用マーク	PET ボトルリサイクル推奨マーク	再生紙使用マーク	間伐材マーク
「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられるラベルです。	使用済み牛乳パックを原料として使用した商品につけられるマークです。(トイレトーパー等に使用されています)	使用済み PET ボトルのリサイクル品を使用した商品につけられるマークです。(文房具、建築資材等に使用されています)	古紙パルプ配合率を示すマークで、100の場合配合率 100%再生紙を使用しています。(マークに書かれている文字「古紙パルプ配合率 100%再生紙を使用」)	間伐材を用いた製品に表示することができるマークです。(マークに書かれている標語「間伐は 緑を育てる 深呼吸」)
				

出典：環境省環境ラベル等データベース

秋の西山ファミリー環境探検隊 は **11月6日(日)** に決定！

PJTリーダー 加藤克巳 サブリーダー 古澤登美代

秋の西山ファミリー環境探検隊は森林ボランティア行事と共催になります。

竹林整備の見学、木の工作、サツマイモ掘りなどご期待下さい。詳しくは10月市民広報をご覧ください。

今年度の夏の部(8月13日)報告



参加者 合計 21名 公募親子 10名(子供 6名)、スタッフ 11名(内、元看護師さん2名) 虫(ほたる)橋下の小泉川で川遊びを先にしました(約1時間30分)。子どもたちはライフジャケット着けました。カニ、カワエビ、カワナなどを採集し、お父さんが探検隊手帳をみてこれはカワナと照合されていました。西代里山公園管理棟に引き上げ京都府立大学「森なかま」さん2人の指導で竹のポウリング遊びをしました。竹のピンに子供たちが描いた絵(紙)を貼り付けます。7本のピンを立て、子供たちでポウリング大会をしました。1位2人、2位3人、3位1人でした。「森なかま」さんが用意した賞品を海賊分けしました。小さいぼくが選んだキャンディを親御さんが「それだめでしょ」で盛り上がりました。今朝届けてもらった地元産のキュウリを各家族に紙袋入りでお土産にしてもらいました。地産地消の環境への役割も説明しました。

ここCOライブ PJT

みんなもできる SDGs

PJT リーダー 西村日出男



10月に長岡第五小学校で5年生にSDGsの出前授業をします。市環境政策室と共同で私のテーマは「SDGsと環境」です。市がSDGsの概要を話され、私は具体的な活動例を話します。

一つは、竹林整備と竹の利活用です。竹林再生PJTの活動や長岡第三中学校生徒の竹林体験の動画、そして竹の利活用の一例として、長岡京市竹ドミノ大会の動画を見てもらいます。竹林整備は郷土の持続可能な環境、生態系維持に不可欠な活動です。もう一つは、使用済み天ぷら油の回収と再利用です。17年前、滝ノ町から始めた回収は現在、市内30か所にまで広がってきました。使用済み天ぷら油の回収、リサイクルは多くの人の協力が必要であり、持続可能な水の生成管理や海洋汚染の防止に不可欠です。



花を咲かそう PJT

緑の手

PJT サブリーダー 平野 謙

少し暑さも和らいだ9月、西山体育館の花壇では現在、マリーゴールド、ブルーサルビア、ジニア、アメリカンブルーなどが咲き乱れています。真夏の間、メンバーが交代で水やりをしたかいてあってよく育ちましたが、丈夫なはずのポーチユカだけは水のやり過ぎか、残念ながら全て枯れてしまいました。花壇はいろいろな花を寄せ植えするので、すべての花をきれいに咲かすことは、意外と難しいものです。ところでgreen fingersという言葉を知っていますか？直訳では緑の手ですが、意味は花などをうまく育てる才能のこと。例えば、He has green fingers. というと「彼は植物を育てるのが上手だ」となります。そんな天賦の才を持ちたいものですね。



竹林再生 PJT

年度後半の竹林整備作業を始めました!!

PJT リーダー 湯川圭造



猛暑を避けた真夏の1ヶ月休会の後、9月5日から竹林整備作業を再開しました。まずは市民の憩いの場でもある長岡天神公園竹林の雑草刈りと間伐から始めました。いつも通り午前9時公民館駐車場に集合後、いざ現場へ。10名の会員が鎌、鋸、草刈り機で竹林内の間伐と伸び放題の雑草刈り、見通しの悪くなったフェンスに絡まった蔓の取り除きなど3時間ほどの作業を行いました。

少し過ごしやすい気候になったとはいえ残暑は厳しく、約1,000坪の竹林の1/3ほどの整備に全員汗だくで、グロッキー気味。一週間後にも15名の参加で作業を継続し、

やっと2/3ほどが綺麗になりました。しんどい作業ですが市民の皆さんが気持ちよく竹林を散策いただき、筍シーズンには幼稚園児や小学生が楽しんでくれる笑顔を思い浮かべながら頑張っています。



長岡美装社(廃棄物収集運搬業)

犯罪・暴力のない
毎日をつくりたい。



TEL 953-7903
FAX 953-8860



SINCE : 1986年

ベーカリーショップ ヤマグチ

ワンローフ食パン

種類 チーズ、あん、栗、さつまいも

場所：奥海印寺郵便局斜め前
tel. 075-956-1217
朝7時より営業
定休日：土、日、祝日



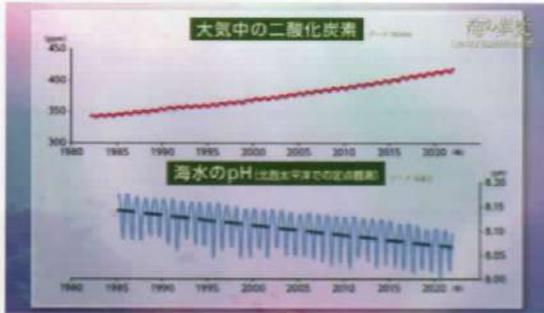
レーズン食パン

『海洋酸性化』 海の異変、しのびよる酸性化の脅威

“海洋酸性化”という言葉は未だそれほど知られていないと思われませんが、世界の海で大変なことが起きているそうです。深刻さを増している地球温暖化。原因とされるのは、人間の活動によって放出され続けている二酸化炭素ですが、その増えすぎた二酸化炭素を、世界中の海が大量に吸収しています。

大気中の二酸化炭素の50倍もの量を海が蓄積しています。そんな大切な海に、恐ろしい異変が起き始めており、それが「海洋酸性化」です。

下の画像は、アメリカ海洋大気庁（NOAA）が、最新の観測データをもとに予測したシミュレーションで、世界全体の海水のpHは、現在およそ8.1。それが2050年には、pH7.9、2080年には、pH7.8、そして2100年には、pH7.7にまで酸性化が進むと予測されています。その被害を先ず受けているのは、海の中の小さな生き物たちで、酸性に傾いた海の水によって体が溶け始め、命が奪われています。



小さな生き物たちの異変は、それを食べて生きる、より大きな生き物たちの異変につながっていき、このままいくと海の生き物たちの5分の1が消滅してしまうという予測も。北極海の事例が有名ですが、すでに世界中の海洋に（日本近海も）影響が出ており、このまま放置していると私たちが食べている海の幸も、激減してしまうかもしれません。

～“NHKスペシャル”2022年7月17日公開より抜粋～
(文責：江川宗治)



みやこちゃんのエコまんが 作：船越 聡

2022年環境年間行事日程 直近版(10月～12月)

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)	こここCOライブ、等
10	環都ニュース発行(10/1) 月例会議(10/11) サボセンフェスタ(10/23)	森林ボランティア(10/2) 森林ボランティア(10/16)		竹林整備活動(第1,3月曜) 竹林整備体験会(第2,4日曜)		「商品購入時の環境対策」発信(10/1)	記事掲載(10/1) 長五小SDGs授業(10/21)
11	月例会議(11/8) 長岡京市環境フェア(11/27) 京都環境フェスティバル行事としてドミノ大会開催	西山F探検隊・秋(11/6) リース作り(11/20) 長岡京市環境フェア(11/27)	すくすく教室竹炭焼き(11/19)	竹林整備活動(第1,3月曜) 竹林整備体験会(第2,4日曜)	花壇土壌整備(下旬) 秋の植え替え(中旬)		
12	月例会議(12/13) 京都環境フェスティバルオンライン(11～12月)	森林ボランティア(12/4) 森林ボランティア(12/18)	すくすく教室竹炭焼き(12/10)	竹林整備活動(第1,3月曜) 竹林整備体験会(第2,4日曜)	雑草引き(上旬) 門松作り(中旬)	エコPJTMe	
				3PJT 合同例会(10/16)	長岡京市サボセンフェスタ出展(10/23)		
				3PJT 合同例会(11/20)			
				3PJT 合同例会(12/18)			

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは西村まで。Tel. 080-3825-2460
E-mail sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：西村日出男宅内
〒617-0817 長岡京市滝ノ町2-20-6

ホームページもご覧下さい。
各PJTの活動内容と写真などがあります。
都づくり会議 検索



編集後記

北極の解氷、大干ばつ、ゲリラ豪雨、猛暑等、異常気象が頻発しています。今では気候危機と言われ、気候正義も叫ばれています。これらを意識しながらも、自分たちに今できる活動を全力で取り組み、仲間も増やしていきたいと思います。「気候危機杞憂でないグレタ立つ」(西村)